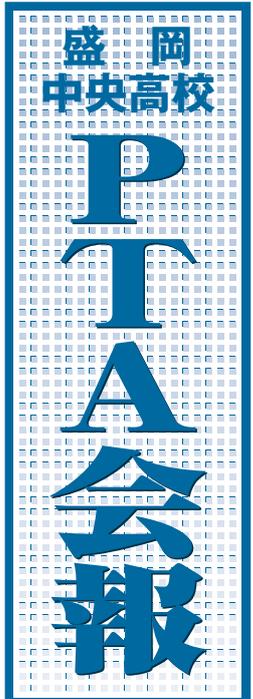


# 東京大学・東北大学医学部 合格



MORIOKA CHUO HIGH SCHOOL  
The Transaction of PTA  
Vol. 60

令和6年7月12日  
盛岡中央高等学校  
PTA会長 及川 公博  
在校生生徒数927名  
〒020-0122  
盛岡市みたけ四丁目26番1号  
電話019-641-0458  
URL <http://www.chuo-hs.jp>

## 「東大医進Vコース1期生 卒業を迎えて」

担任 佐々木進一郎

2018年度に新設された盛岡中央高等学校附属中学校は、今春ついに1期生が高校卒業を迎えました。内進生の東大医進Vコースは東京大学や医学部をはじめ志高い進路目標を掲げ、大学受験に挑戦しました。大山晃誠くんは東京大学理科一類の主席合格を目指して学習に励み、見事合格を果たしました。本人は主席じゃなかったことを悔しがっていましたが、彼は中学の頃から何にでも興味を持って積極的に取り組んできました。課題に対しても真摯に取り組み、基礎基本を大切に、積み重ねの努力が彼を合格に導いたことは想像に難くありません。また、国立大学医学部入試については、附属中学校入学当初から医学部合格を目標に努力しました。志田旭くんが第一志望の東北大学医学部に狭き門である特別入試（地域枠）で、村松一朗くんが一般入試で秋田大学医学部に見事合格しました。6年間一貫教育の利点を最大限活用した先取りカリキュラムをはじめ、様々な取り組みを通して、高い人間力を身につけることができたことが成果を下支えたことと思います。身につけた高い学力をもとにそれをどの場面でもどのようにアウトプットするかということに重点を置いています。大学でのアカデミックな研究を含め、社会では答えのない問いに対して思考・探求し自分の答えを出す力が求められています。Vコースの生徒はその土台をもとに部活動や生徒会活動など様々な形でアウトプットすることで多方面で活躍しています。その成果として1期生が大学入試で躍動してくれたことを非常に嬉しく、また6年間携わってきた身として非常に感慨深く感じています。今後のVコースの生徒も大学入試に限らず多方面で活躍してくれることを願って止みません。

「おめでとう」

校長 川上 圭一

本校長を拝命いたしました川上です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

皆様には、日頃から本校の教育活動に對しまして、ご理解・ご支援をいただいておりますことに衷心から感謝申し上げます。

さて、去る四月九日、附属中学校と合同で入学式を行い、高校生二百六十八名の新生を迎え、全校生徒九百三十二名で本年度をスタートしました。本年も多くの方々に本校を選んていただき、大きな喜びとともに責任の大きさを痛感しております。ここ数年、コロナウイルス感染症が教育活動に大きな影響を及ぼしてまいりましたが、現在はほぼコロナ以前の教育環境を取り戻しています。また、この間に教育界ではICT教育が加速度的に進みました。ビフォーコロナ・アフターコロナの双方に鑑みた教育活動が求められていることを切に感じて

おります。

本年、本校においては、体育大会、昇龍祭、国際教育フォーラムや海外研修等々の行事を例年どおり実施する予定です。一方、本年度高等学校の新教育課程が完成年度を迎え、大学共通テストに教科「情報」が加えられた新テストが実施されますが、そのような制度変更にも対応できる体制整備も進めています。

今春の進学実績は、令和五年度に創立六十周年、中高一貫教育完成年度という節目の年を飾る素晴らしいものでした。さらに、本校が年々成長を続けている証でもあります。

三年生諸君は、早くも卒業後の進路選択という大きな岐路に立つことになりましたが、各人の進路希望の実現に生徒、保護者の皆様とともに教職員一同全力で取り組みたいと思っております。

生徒諸君には本校での学びを通して、本校は生徒諸君とともに、「成長を続ける学校」でありたいと考えております。保護者の皆様の二層のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

会長挨拶

PTA会長 及川 公博

日頃より、PTA活動に對してご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度、PTA会長を仰せつかりました及川公博と申します。

さて、高校時代は、今後の人生を左右する大切な時期でもあり、また多感な時期でもあります。将来の夢の実現に向けて必ずやつてくるのが進路選択です。子供達の夢の実現に向けて、人生の先輩でもある、我々保護者と教職員が一つになり、子供達と向き合い、背中を押してあげるのが務めではないでしょうか。

また、多感な時期でもある為、意見が合わず、ぶつかる事もあると思いが

すが、子供達の将来の為に愛情を持って接して頂ければと思います。

さて、本校に限らず、PTA活動は縦の繋がりでなく、横の繋がりが大事だと考えております。

学年の枠を超えた活動を積極的に行うことにより、さまざまな意見が出され、それを学校にフィードバックする事により、結果的に「子供達の為に」学校の為に「成ればと考えておりますので、お忙しい中とは存じますが短時間で時間を割いて頂き、PTA活動にご協力をお願い致します。

最後になりますが、PTA会員皆様のご協力を頂きながら、「子供達の為に」を第一に考え、一年という限られた時間ではございますが、与えられた大役を全う出来る様、努めて参ります。至らない点も多々あると思いが、一年間どうぞよろしくお願ひ致します。

## 台湾交流



各局のニュースなどで取り上げていただきましたので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、県の海外学習旅行受け入れの環として訪盛した、台湾の臺中市立東山高級中学校生徒との交流を行いました。

本校の三学年が参加して剣道場で歓迎式を行い、その後は授業の見学を行いました。この訪問があった4月中旬はちょうど桜が満開でした。そこで、生徒会生徒を中心に盛岡城跡公園で桜を眺めながらお弁当を食べたり周囲を散策しながら交流しました。

半日ほどの短い時間ではありましたが、お互いに積極的にコミュニケーションを図っており、充実した交流となりました。

(国際課長 石川圭一郎)



## インピントン・ビレッジ・カレッジ来校



本校姉妹校であるイギリスのインピントン・ビレッジ・カレッジの生徒たちが、日本研修の一環として訪盛しました。2泊3日という短い期間ではありましたが、フォーラム&フェスティバルに先んじて本格的な国際交流の機会となりました。

今回は国際Rコースの生徒たちがインピントンの生徒と一緒にレッスンを受けました。特に2日目はインピントンのニール先生によるドラマのレッスンをが行われ、シエクスペア作品の原稿を読み、情景を理解した上で、実際にインピントンの生徒と一緒に演じるというレッスンです。海外留学の際に選択する生徒が多いドラマの授業ですが、Rコース生徒とインピントンの生徒が真剣な様子でありながら非常に打ち解けた雰囲気であったのが印象的でした。また、浴衣・茶道体験や和食づくり体験などの日本文化体験も楽しんでもらえたようです。年度が明けてすぐのタイミングでのホームステイ受け入れにご協力いただきました保護者・生徒の皆様、本当にありがとうございます。

この後もフォーラム&フェスティバル、シフオード高校(オーストラリア)の際にホームステイがございします。で、その際もぜひご協力よろしくお願いたします。

(国際課長 石川圭一郎)

## グローバルリーダー育成研修 (アメリカ)

日程 / 3月16日~26日

### 私であるということ

佐々木 航成(2V)

渡米する前、私はアメリカが自由な国であるというイメージを持っていました。実際に訪れてみると、これは概ね間違いではありませんが、その反面、責任や自分のアイデンティティを大切に持つことが、日本にいるとき以上に必要であると感じました。街を少し歩けば、見た目も、ファッションも、聞こえてくる言葉も、全く違います。自分が何者であるかについて問うことが、アメリカでは日常なことであり、良い意味でも、悪い意味でも、人間関係において重要な役割を果たしていました。

私は渡米して、自分がアジア人であるということを初めて感じました。日本にいれば自分がアジア人や日本人であるということさえも意識しません。アジア人・日本人であるというアイデンティティは自分が選んだものではありませんが、大切にすべきなのだと思います。

ザ・モールは戦争に関して大変興味深く、胸が痛む場所でした。戦争戦没者のメモリアルには、国のために命を落とした兵士の名前が刻まれています。涙を流す家族、焼け野原になった街を想像すると言葉が出ません。戦争は誰も幸せにならない、ということが胸に深く刻まれました。

アメリカで初めて見た光景すべてに目を奪われました。私はその光景ひとつひとつを忘れることはなく、日本人として、岩手県民として、そして、私として、平和や差別について、これからずっと考えていきたいと思います。



### Rコース1年留学 (ニュージーランド)

栃澤 佑紀(3Z4R)

私はニュージーランドに1年間留学をしました。Rコースとしてはコロナ禍以降3年ぶりとなるニュージーランド留学でした。留学に携わってくださった先生方や両親、そして受け入れてくださったホストファミリーには感謝してもきれないほどです。

ニュージーランドの生活の中で特に感じたことは3つです。「コミュニケーション」「文化の違い」「母国への思い」です。現地についてすぐは自分の考えを伝えることや英語をスムーズに理解することが難しくホストファミリーや友達との会話が乏しかった。その中でジェスチャーや自分の知っている単語を組み合わせるなど工夫を凝らし英語を流暢に話すということよりも伝えるということがとても大事だということを最初の数か月の経験から学ぶことができました。次に文化の違いです。今回の留学では各チームで人数は異なりますが計5人のルームメイトとの生活を体験することができました。そのため1つの屋根の下に少なくとも3か国の文化が共存するという事です。特に大変だったことは、朝の身支度や部屋の掃除など文化の違いなのかその人自身の習慣なのかを見極めるということです。1人目のルームメイトとは生活リズムや文化の違いが大きくとても大変な日々でしたが2人目以降はそれらの経験から見極めることができたので心地よく生活を送ることができました。そして最後は母国へ対する思いです。留学をする前まで母国についてあまり考えたことがありませんでした。しかしニュージーランドでは国鳥や国花のイラスト、スーパーマーケットやホームセンターではいたるところで国旗を目にすることがありました。それほど現地の人々は母国への思いや自然・動物へのリスペクトを持っているというように感じました。1年間の留学を通してニュージーランドの自然や環境、食べ物など沢山の魅力を発見することができました。それと同時に盛岡や岩手にもたくさんの自然や観光地、郷土料理など誇れるものがあるということを再認識することができました。



今回の留学を通して英語力の向上だけに留まることなく異文化に触れ現地のことについて学び私たちの母国についてさらに考えを深めることができました。これらの経験を活かし国際教育フォーラムや姉妹校交流など様々な活動でリーダーシップを発揮し国際交流豊富で活気のある中央高校創りに貢献していきたいです。

### 修学旅行 (カナダ)

Aコース：1月26日～2月1日

令和6年1月26日～2月1日にかけて2年生Aコースは修学旅行として、5年ぶりにカナダへ行きました。初めての海外に行く生徒も非常に多く、当初は非常に緊張していましたが、ホストファミリーとの生活や、日本と所縁のある場所を訪れることでカナダと日本の歴史を学ぶことができ、大変充実した6日間となりました。

(3A1担任 中森 淳)

Bコース：2月2日～2月8日

修学旅行先のカナダでは、2泊3日のホームステイをし、ホストファミリーとビクトリアの街を観光し多くの建物の形に圧倒され驚きました。初めてのホームステイで日本と海外の生活習慣の大きな違いが沢山あり、戸惑うこともありましたが、海外の人と英語で会話を通してカナダと日本の文化の違いに触れて生活することができたことも修学旅行で成長できた点だと思います。

安保 奏美(3B1)



### グローバルリーダー育成研修 (オーストラリア)

日程 / SZコース：3月16日～22日

#### オーストラリアでの経験

高橋 美羽(2S21)

私は、このオーストラリア研修でたくさんのことを学びました。オーストラリアに行く前は初めての海外で楽しみな気持ちと不安な気持ちでいっぱいでしたが、行ってみるとたくさんの貴重な経験が出来てとても楽しかったです。

この研修には2つの目標を掲げて臨みました。1つは、オーストラリアの生物や気候を現地を感じて日本との違いを学ぶことです。日本との違いで感じたことは湿度がないことです。そして、私が行った期間は気温もそんなに高くなく、天気にも恵まれたためとても過ごしやすい気候でした。また生物は、カンガルー、コアラ、エミューなど日本ではなかなか見ない生物が生息しており、これらの動物と触れあえることにとても驚きました。このようなことが日本との違いであると学びました。

もう1つのメインの目標は自分から積極的に話しかけて1つでも多くの英語を吸収することです。英語も積極的に話しかけることも苦手だったため少しでも克服して多くのことを学べればと思いこの目標をメインに設定しました。現地に着いてから最初のほうは緊張や不安で上手に話せなかったり、英語を聞き取れなかったりしたけど、日にちを重ねるにつれて緊張が解け、ホストファミリーやバディと楽しく会話できるようになりました。しかし、話した内容を聞き返されるのが多々あり、聞き取れないこともありました。今回の伝わらなかった悔しさをバネにし、勉強に励んでいきたいです。そしてこれらの目標を設定したことで、英語をたくさん吸収でき、英語に興味を持つきっかけにもなりました。

ホームステイや学校で過ごした時間は、学びもあり、楽しく充実した時間で貴重な経験になりました。ホストファミリーは私にやさしく、たくさん気にかけてくれたおかげでリラックスした時間を過ごすことが出来ました。学校ではバディが英語を教えてくれたり、フェアウェルパーティーではさんさ踊りを教えたりなど文化の交流が出来ました。これらの時間は私にとって、とても有意義な時間になりました。

今回の研修旅行ではオーストラリアと日本の違いやオーストラリアの良さ、離れて知った日本の良さなど多くのことを感じる事が出来ました。楽しかった出来事、大変だった出来事、学んだことすべてを今後の生活や勉強に生かしていきたいです。そして、自分自身をもっと成長させて、ほかの海外の文化の違いなどを現地に行って感じたいです。



#### 特進Zコース 生徒感想ピックアップ

日程 / Zコース：3月9日～15日

今回の研修で海外へのイメージが大きく変わり、価値観を見直す良い機会になった。この経験は、きっとこれからの自分にとって大切なものになると思うので、心にしっかり留めて生活していきたいと思う。

〈アドレード 角籠みゆう(2Z1)〉

外国で日本とは違った文化に触れ、多くの人と関わることで自分の価値観が変わり、視野を広げたことは本当にすごいことだと思った。たくさんの思い出と成長が詰まった最高の研修になった。

〈シーフォード 藤澤乃々花(2Z2)〉



今回のオーストラリアへの研修で見たこと、体感したことはごく一部ではあったが、日本と異なる文化や考え方が見つかり、とても楽しく、自分の価値観の変化につながるものになったと思う。

〈チャールズキャンベル 池上昂佑(2Z2)〉

約1週間という短い期間ではあったが、初めての海外で沢山の刺激を受け、自分から話す力と英語で話しかけられた時にビビらないということが成長したと思う。会話が上手くできないということでも悔しい思いをしたので、これから英語を真面目に頑張りたい。

〈バンクシアパーク 安ヶ平咲良(2Z2)〉



教職員紹介

管理職

 ★ 校長 川上 圭一	 副校長 与座 宏章	 中高教頭 阿部 良孝 地歴公民	 教頭 熊倉 秀紀 外国語	 教頭 及川 満洋 保健体育	 副教頭 山賀 敏也 国語 ソフトボール	 副教頭 小原 祐一 保健体育 サッカー	 副教頭 吉田 幸彦 地歴公民 卓球
-------------------	------------------	---------------------------	------------------------	-------------------------	----------------------------------	----------------------------------	--------------------------------

事務

養護教諭

 伊藤 文彦	 柄澤 朗子	 齊藤 奈々紀	 ★ 宮井 寛	 佐藤 樺衣
-----------	-----------	------------	------------	-----------

東医Vコース	特進選抜SZコース	特進Zコース
国際Rコース	進学選抜Aコース	進学総合A・Bコース

1年生

 1V正 田村 祐太 数学 バスケットボール	 ★ 1S21正 大平 達郎 数学 吹奏楽	 1S21副 山田 智 理科 科学	 ★ 1S22正 平井 哲也 数学 囲碁・将棋	 1S22副 糸井 眞一 理科 茶道	 1Z1正 柴田 大心 数学 ゴルフ	 1Z1副 山賀 敏也 国語 ソフトボール	 1Z2正 門前 直樹 外国語 ハンドボール	 1Z2副 藤原 陽子 家庭科 家庭
 1A1正 成田 明伸 国語 バスケットボール	 1A1副 松野 勝彦 情報 硬式野球	 1A2R正 石川 圭一郎 地歴公民 テニス	 1A2R副 フォン・ジェイダ 外国語 ディベート	 ★ 1A2R副 澤田 怜利 外国語 応援・チアダンス	 1B1正 村田 大 保健体育 サッカー	 1B1副 高橋 亨 地歴公民 ゴルフ	 1B2正 佐々木 万実 保健体育 柔道	 1B2副 熊沢 直哉 保健体育 スキー(スケート)

2年生

 2V正 村田 伸也 国語 文芸	 2S21正 梅木 翔太 数学 ソフトテニス	 ★ 2S21副 樋口 正之 情報 茶道	 2S22正 工藤 洸 地歴公民 陸上競技	 2S22副 高橋 勝弘 理科 囲碁・将棋	 2Z1正 佐藤 律子 国語 芸術	 2Z1副・2Z2副 川手 祐輔 地歴公民 ソフトボール	 ★ 2Z2正 加藤 美津子 国語 合唱部	
 2AR2正 中村 祐史 理科 少林寺拳法	 2A2R副 ファティマ・カーン 外国語 ディベート	 ★ 2A2R副 平山 敏 地歴公民 ソフトボール	 2A1正 中嶋 尚樹 外国語 バレーボール	 2A1副 北川 貢 保健体育 陸上競技	 2B1正 久保田 豪 保健体育 柔道	 2B1副 小原 祐一 保健体育 サッカー	 ★ 2B2正 佐藤 祐那 情報・保健体育 サッカー	 2B2副 氷見 浩一 国語 ソフトテニス

3年生

 3V正 小笠原 正浩 数学 バドミントン	 3V副・1V副 菊池 亨 地歴公民 ソフトボール	 3V副・2V副 齊藤 成一 理科 家庭	 3S21正 佐々木 恵 国語 さんざん同好会	 3S21副 玉山 光典 理科 科学	 3S22正 岩崎 聡史 数学 さんざん同好会	 3S22副 晴山 幸弘 外国語 芸術	 3Z1正 伊東 雄一 地歴公民 スキー	 3Z1副 本間 崇朗 地歴公民 硬式野球
 3Z2正 杉田 陽子 保健体育 ハンドボール	 3Z2副 朝日田 光晴 理科 ソフトテニス	 3Z3正 佐々木 美咲 地歴公民 卓球	 3Z3副 山崎 元 地歴公民 応援・チアダンス	 3Z4R正 田村 紘大 外国語 ディベート	 3Z4R副 吉田 幸彦 地歴公民 卓球	 3Z4R副 プライアン・コルバ 外国語 ディベート	 3A1正 中森 淳 サッカー	 ★ 3A1副 佐々木 敬之 数学 硬式野球
 3A2正 山田 宏幸 国語 ディベート	 3A2副 中野 浩 情報 バレーボール	 3B1正 長澤 英胤 芸術・保健体育 柔道	 3B1副 齊藤 匡郎 国語 ソフトテニス	 3B2正 加藤 操 理科 バドミントン	 3B2副 米澤 守 地歴公民 硬式野球	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔クラス〕</p> <p>氏名 担当教科 担当クラブ</p> </div>		

★は新任の先生  
◎はコース長  
■は学年長



### 新任の先生の自己紹介

**川上 圭一校長**  
 ①岩手県二戸市 ②岩手県立盛岡第一高等学校 ③スポーツ観戦 ④古都「京都」の奥深さにはまっている。⑤「汽車の窓も」(啄木)

**加藤 美津子先生**  
 ①岩手県盛岡市(旧玉山村) ②岩手県立盛岡第三高等学校 ③美味しいコーヒーとクラフトビールを探ること。④Y.O.A.S O.B.I あいみよん ⑤自然体を目指す!!

**樋口 正之先生**  
 ①岩手県二戸市 ②岩手県立福岡高等学校 ③資格の勉強。これまでで「国家資格として情報処理安全確保支援士とキャリアコンサルタント」を取得しました。また「食生活アドバイザー」の資格を持っています。趣味を生かして毎朝5時に起きて家族の朝ごはんを作っています。④娘と息子。⑤生徒一人ひとりの可能性を引き出し、彼らが自分自身の将来に向けて自信をもって進んでいけるように支えていきたいと思っています。

**平山 敏先生**  
 ①岩手県盛岡市 ②岩手県立不来方高等学校 ③スポーツ観戦ゲーム ④お茶は生茶推しです。⑤教員生活1年目。少しでも学生に教えている教科に興味を持ってもらえるように頑張ります。

**佐々木 敬之先生**  
 ①岩手県花巻市 ②仙台育英学園高等学校 ③サウナ 映画鑑賞 ④これから探します! ⑤生徒達と共に、活気ある日々を過ごしていきたいと思っています。

**平井 哲也先生**  
 ①岩手県盛岡市 ②岩手県立盛岡第一高等学校 ③D・I・Y ④囲碁部(顧問なので) ⑤文武両道の盛岡中央高校をさらに盛り上げていければと思っています。

**大平 達郎先生**  
 ①岩手県奥州市 ②岩手県立黒沢尻高等学校 ③模様替え トマトの味噌汁 ④教員1年目ですが、精一杯頑張ります。

**佐藤 祐那先生**  
 ①岩手県滝沢市 ②盛岡中央高等学校 ③釣り ④娘2人(0歳と2歳) ⑤母校のために全力を尽くす!!

⑥当時の第3職員室が恐怖で立ち入りできなかった(強烈な先生しかいなかった)の練習で小岩井農場まで走らされた(約30km)。素晴らしい仲間と共に全国高校サッカー選手権大会に出場できた。

**澤田 恰利先生**  
 ①青森県むつ市 ②青森県立田名部高等学校校英語科 ③ダンス ④藤田ニコル ⑤授業は明るく楽しく、生徒の皆さんにパワーを与えられるように頑張ります。

**事務員 宮井 寛さん**  
 ①岩手県盛岡市 ②龍澤高等学校(現盛岡中央高等学校) ③食べること 飲むこと ④特になし ⑤周りに迷惑をかけないようになりたいです。⑥遠い昔の事で忘れました。

**グローバル教育コーディネーター 内田 里美さん**  
 ①岩手県盛岡市 ②盛岡中央高等学校 ③ヨガ、読書 ④焼き鳥(こり) ⑤中央高校のグローバル教育に関する取り組みなど、生徒・先生たちをサポートするのが私の役割です。たくさん生徒と関わることを楽しみにしています。⑥進学・留学コース(現Rコース)4期生として、1年間ニュージーランドの姉妹校に留学しました。その経験から、大学へ進学し、卒業後から教育業界に携わっています。3年生の時、さんさ同好会の立ち上げメンバーの一員としてリーダーをサポートし、現在も外部団体で活動しています。

①出身地 ②出身高校 ③趣味 ④今の「推し」は? ⑤一言 ⑥本校に在籍していた時の思い出。(本校卒業生のみ)

## 岩手県知事賞受賞

岩手県が主催した高校生及び高専生対象の「令和5年度 いわたの高校生サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト」に応募し、予選を通過した10チームが一堂に会し研究成果のプレゼンテーションが行われました。その結果、本校科学部のハスクレイ班の3名が第1位(岩手県知事賞)のチーム表彰を受け、後日達増知事から賞状と副賞を戴きました。新規素材ハスクレイに着眼した点や情報収集に動いた行動力を高く評価しますと知事からお褒めの言葉がありました。また、研究目的をエコに絞った岩手県ILC推進局主催の別のコンテスト「令和五年度探究成果オンライン発表会」においても第1位を受賞し、それぞれの副賞として県外県内の先進施設を見学する機会を与えられ、生徒たちはより一層の理解と関心を深めることができました。  
 (科学部顧問 玉山光典)



## 北日本銀行ニュービジネスコンテスト 最優秀賞

企業や事態転換を応援するニュービジネスコンテスト学生部門で、本校のチーム「歯磨き」が最優秀賞を受賞しました。4人は総合的な探求の時間で1年間取り組んできた、地域の子どもが高齢者宅で手伝いをする仕組みと両者をつなぐアプリを開発するというビジネス企画で高い評価をいただき、賞金10万円が寄贈されました。



(3SZ1)  
 石川紘雅・橋本凌大  
 吉田暁大・伊藤恒貴

## フォーラム&フェスティバル予告

今年は25回目の節目ということで、学際的な「フォーラム」と文化交流を主とした「フェスティバル」という2本立てで開催いたします。期間の序盤に各校の探究成果発表を行い、その後は実行委員生徒をはじめとして姉妹校生徒と本校生徒との交流を行っていきます。最終日は盛岡市民文化ホールマリオスにおいて各国のパフォーマーやフォーラム&フェスティバルの間に感じたことなどを発表するシンポジウムを実施する予定です。さらに探究発表後、相互に意見を出し合いながら、「高校生が世界の諸問題にどのように関わっていくか」ということについてアクションプランの提言を高校生の目線で発表したいと考えております。

25回という節目の年の新たな「第25回 CHUO国際教育フォーラム&フェスティバル」にご期待ください。

## 編集後記

今回は、国際交流・新任の先生方などを多く記事にしてみました。現在、校舎外壁の工事をしており、夏季休業中には1号館の教室もホワイトボードに変わります。剣道場にもエアコンが設置され、新しくできた2号館別館が授業等で活用されています。2学期以降もどんどんいい方向に変わっていかれると思いますので、ご協力よろしくお願いたします。